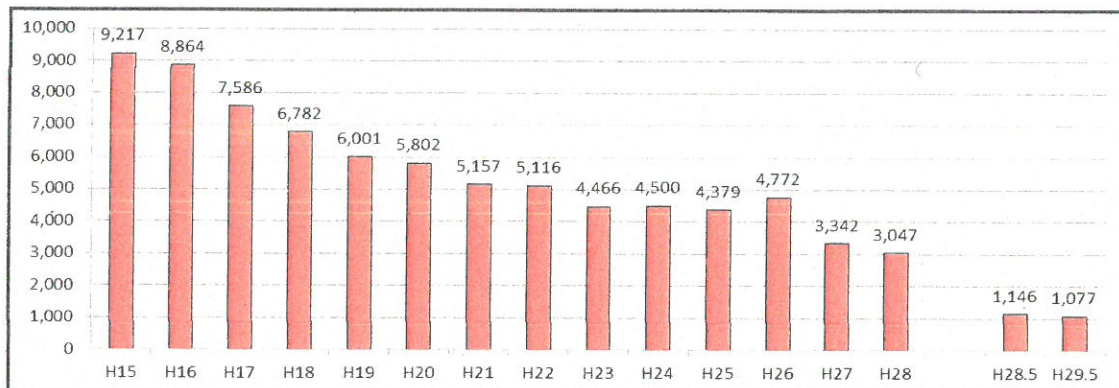
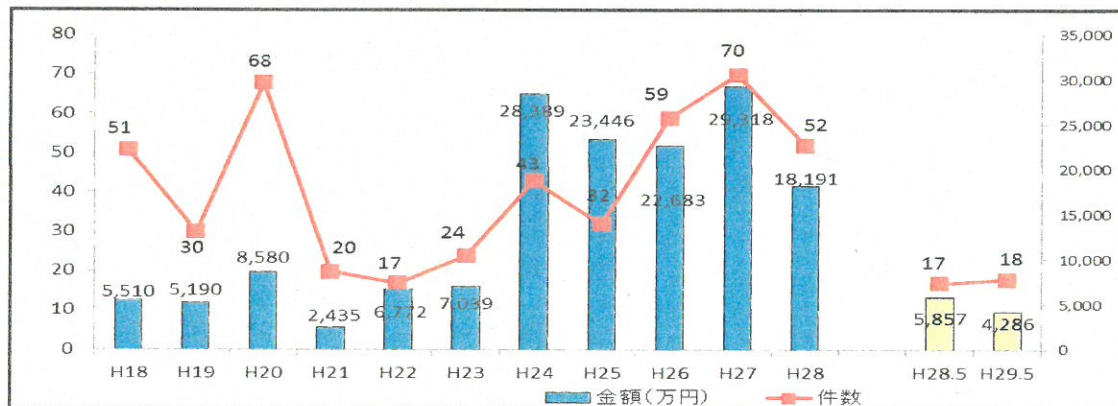


1 刑法犯罪の状況（平成15年～）



- 県内の刑法犯認知件数は、平成15年の9,217件から平成28年は3,047件に減少
- 平成28年中の特徴 ～強盗や詐欺、住居侵入等が前年比で増加
全体の約73.6%を窃盗が占める
- 平成29年5月末の特徴～前年同期に比べ全体的に減少
全体の約73.8%を窃盗が占める

2 特殊詐欺の状況（平成18年～）



- 平成28年 ～認知件数 52件（前年比－18件）
被害金額 約1億8,191万円（前年比－約1億1,127万円）
- 平成29年5月末～認知件数 18件（前年同期比＋1件）
被害金額 約4,286万円（前年同期比－約1,571万円）

【平成29年5月末における特殊詐欺被害の特徴】

- 高齢者の被害が多数～72.2%が65歳以上の高齢者
- 発生手口
 - ・ 架空請求詐欺～7件・約1,330万円（前年同期比－2件 －約1,024万円）
 - ・ 還付金等詐欺～7件・約648万円（前年同期比＋4件 ＋約400万円）
 - ・ オレオレ詐欺～4件・約2,308万円（前年同期比＋4件 ＋約2,308万円）
- 被害金交付形態
 - ・ 振込型～窓口、ATMからの振込 11件（61.1%）
 - ・ 送付型～ゆうパック、宅配便で送付 3件（16.7%）
 - ・ 手交型～自宅及びその付近で手渡し 2件（11.1%）
 - ・ その他～電子マネーによるもの 2件（11.1%）